

最近「子育てを「特別視」し過ぎる傾向があります。育児書やインターネットなどの溢れる情報の中で「〇〇でなければならぬ」と気にし過ぎてしまうようです。例えば子どもに最適な室温も、〇度という数字ではなく、汗をかいているのか、むずかっているのか、身



や罪悪感を持つ人もいます。特に0〜2歳のころは子どもと密接に関わることで親子の絆、家族の絆が生まれる

本能で、五感を使って 子育てしていますか？

いくらあやしても泣きやまない、親の思いが通じない：子育てをしながら、悩み戸惑うことも多いでしょう。しかし、子育てとは、何かを我慢したり犠牲にすることではなく、とっても楽しいもの。誰でもはじめは親としては未熟です。子どもが親にいろいろなことを教え、与え、育ててくれます。焦らず、ゆつくり、親子一緒に成長していきますでしょう。

子育てを楽しもう！

子育て支援センター 梶塚直子

体に触れて、五感を使って、コミュニケーションのなかで感じ取ってあげばよいのです。離乳食の作り方も同様です。育児に正解はないのです。あまり神経質になりすぎるとストレスがたまって、親も子どもも疲れ果ててしまいますよ。

たいせつなのは時間より密度

女性が社会で躍進する現在、育児をしながら働く人が増えています。産前（後）休業、育児休業の取得や保育所の利用など、忙しいなか仕事と育児の両立に工夫されています。育児に専念する期間は、バリバリ仕事をしていたころと違い、社会に貢献できず取り残されたような孤独感や罪悪感を持つ人もいます。でも、

特に0〜2歳のころ

地域みんなで子育て支援を

一昔前までは親と同居し兄妹も多かったのですが、今は核家族化・少子化が急速に進んでいます。そのため、家の中で親と子だけで一日を過ごし、母親が孤立し不安を抱くことも珍しくなく、ストレスなどから思いがけず

貴重な時期です。3歳を過ぎれば集団に入り、他人との関わりを持つようになり、形成されていけば、安心して親から離れることができます。子どもと触れ合える時間は思いっきり抱き締めて、たくさん愛情を注ぎましょう。その想いはきちんと子どもに伝わりますよ。



虐待に近い行為に及ぶこともあります。そんな母親は「寒くなったけど大丈夫？」「大きくなったね」の一言にホッと、楽になれるのです。声をかける方もかけられる方も、遠慮せず、まずは挨拶から始めてみませんか。車がなく、子育て支援センターに來れなかった親子を、隣の家のおじいちゃんや送迎している例もあります。親子が遊んでいる間、おじいちゃんや図書館で本を読んでいる。そんな関係、素敵じゃないですか。

子育ては一人でするものではない。話を聞いてくれる、ちょっとした手助けしてもらえ、そんな支えがあつて初めて、楽しく子育てができるのです。ちょっとした支援なら誰でもできますよね。子育てに悩んでいる人がいたら、「子育て支援センターに行ってみたら？」と声をかけてください。それを機に、一人でも多くの悩める親たちに手を差し伸べることができれば幸いです。



●子育て支援センター
すくすく(前原)
前原東二丁目1番25号
☎(321)0464

●子育て支援センターにこにこ(二丈)
二丈深江1360
※糸島市役所二丈庁舎3階
☎(332)2105



ママ・パパたちのホットとステーション

子育て支援センター

スタッフ一同、
みなさんのお越しを
お待ちしております！

親子で自由に遊ぶ「広場」、手遊び・昔遊びなどを行う「教室」を中心に、親子の触れ合い、親同士の交流の場を設定。育児相談・アドバイスなどを通じ「子育て」の応援を行っています。

広いスペースで、安心して伸び伸びと子どもたちが走り回ることができ、親子でリフレッシュできますよ！



●子育て支援センター
ぽかぽか(志摩)
志摩初1番地
※健康福祉センターふれあい2階
☎(327)2260

療育部門

子育て支援センターきらきら

心身にハンディキャップを抱えていたり、発達に特性がある子どもを対象に、保育士、臨床心理士や理学療法士・作業療法士の指導の下、発達を促す療育を行います。同じ悩みを抱える保護者同士が交流する機会も設けています。



活動の詳細は、子育て情報誌『ういず』に掲載しています。糸島市HP内で「ういず」で検索してください！